

木づかいガイドライン作成関連資料

1 平成 27 年度 木づかいガイドラインの活動方針について

- ① 平成 26 年度に作成した提案型「木づかいガイドライン さあ~しよう」の原案を基本に、各提案項目について提案が可能なものから順次提案者へ原稿を依頼して作成業務を行う
- ② 「木づかいガイドライン」は、こうした方法で順次提案者に作成依頼を図りながら、その内容を増やしていく
- ③ 並行して開催する「木づかいライブ・スギダラキャラバン」は、「木づかい」推進のリーダー役を務める根羽村森林組合がまとめ役となって、里山市民グループ・地元工務店・地域の団体等と連携しながら、流域内の様々なイベントとジョイントを図り、地域に活力を生み出す元気な人の輪を育成する
- ④ 「木づかいライブ・スギダラキャラバン」開催を通して、「森づくりガイドライン・木づかいガイドライン」等の森づくりと木づかい情報を発信して、矢作川流域の森林資源・木づかい推進活動を紹介しながら、森や木づかいのファンを増やしていく
- ⑤ 同時に、木育アイテムや「どこでもシリーズ」等スギダラ商品の開発を図りながら、矢作川の流域材を活用した楽しい「木のある暮らし」を広く市民に提案して、その普及と定着を図る
- ⑥ こうした楽しい「木のある暮らし」の普及を基本として、市民自らのアイデアと行動で身近なあらゆる生活空間をスギダラケにする市民活動を生み出し、「人生を楽しみ愛する家族と共に幸せに暮らす 森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きるライフスタイル 矢作川ディズ」を確立する

2 木育アイテムや「どこでもシリーズ」等スギダラ商品の開発を図りながら、矢作川の流域材を活用した楽しい「木のある暮らし」を広く市民に提案して、その普及と定着を図る

① 小学生・ファミリーに向けた木育アイテムの開発について

- ・動く木のおもちゃの開発・設置・販売について
- ・どんな風に動く木のおもちゃか体験してください
- ・どのアイテムが魅力的か(人気投票)
- ・大型アイテムの設置場所はどこがよいか
- ・安城市による赤ちゃんへの木のプレゼントとして活用できるか
- ・NHK「ピタゴラスイッチ」のような面白いしかけも開発したい

② 流域ものさしの作成について

- ・どんな樹種を使うか
- ・長さの概念をどうするか (天竜川スケール NO50 $213\text{km} \times 1/100\text{万} = 21.3\text{cm}$)
- ・どんな使い方をするか
- ・マイ流域ストーリーのイメージとは

③ 根羽村小学校・信州大学農学部・根羽村森林組合による「小学生が大人になってもずっと住みたい楽しい地域づくり・ライフスタイル」体感プログラム作成について

○どんな趣旨か(別紙のとおり)

- ・根羽村の小学生が夢と希望を持って農林業や環境資源で生きていけるライフスタイルを提示することが目的

○現時点でのイメージ

- ・小学校でのカリキュラム化は総合学習の時間以外はスケジュール的に困難
- ・このため土曜日を活用するプランが先生の負担も軽減されて現実的
- ・テーマは 山仕事、木工作、木の科学実験、木のある暮らし、山歩きの5つのテーマ
- ・小学生が「どこでもシリーズ」等のモニターとしてコメントし、木のアイテムの開発に参加する
- ・小中学校は根羽村、高校は村外、大学進学希望者は、現在連携している信州大学農学部、岐阜女子大学、愛知教育大学に選択して入学できる。ただし、卒業後は根羽村の農林業・環境資源開発・村内での教育指導に従事する
- ・農林業等の実践的な活動拠点施設を各大学と連携して、村内に建築する
- ・根羽村から豊田市への山岳縦走路・板倉式簡易小屋を、近隣集落の協力を得ながら地域材を利用して設置する

平成 27 年 5 月 20 日

根羽小学校と信州大学農学部との連携的な取り組み（案）

取り組みの趣旨等

- ① 根羽村の小学生には将来的に根羽村で農林業・環境資源で生きていけるライフスタイルの可能性を提示したい
- ② このため、まず根羽村の自然や環境を体の五感で感じて楽しんでもらうような体験・ワークショップ等を行い、自分たちの住む里山の魅力を実感させ、故郷の魅力を心に染み込ませたい
(子どもたちがつくるどきどきわくわく体験ノート・山しごと木育ノート・センスオブワンダーノート、将来親になった時子どもに伝えたいノート等)
- ③ 同時に、大学、村、森林組合、村民、下流域デザイナーと一緒に小学生が参加して、森沢等の地域をモデルにして、根羽村の素晴らしい地域資源・地域の魅力を活かした「小学生が大人になってもずっと住みたい楽しい地域づくり・ライフスタイル」プランを作成・提案したい
- ④ その過程の中で、信州大学農学部根羽村分校の設立・農林研究活動拠点施設の設置・根羽村卒業生の信州大学農学部推薦枠の設定も検討する
- ⑤ 併せて、大学研究者と一体となった田舎の先生の得意分野を活かした指導者としての登用も検討する
- ⑥ 農山村で生きられる知識・技能を持った大学と連携した山村独自の技能マイスター制度も検討する

2015.5.20

「根羽村型『地域で生きる力』の学び」についての検討

信州大学農学部 農村計画学研究室

1. 背景

信州大学農学部・農村計画学研究室では、過去2年間、根羽村の受託研究の一部を活用し、『農林一体の地域づくり』¹⁾について検討してきた。その中で、地域づくりの最も重要な課題の一つは「次世代育成」であると考えられた。

近年の根羽村の人口・世帯数推移を図1に示す。

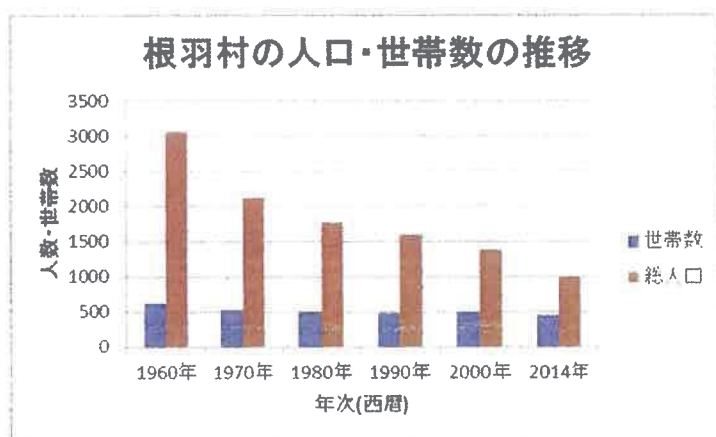


図1 根羽村の人口・世帯数推移 (1960-2014) 根羽村 HP より

全国的な人口減少傾向も反映していると考えられるが、将来が懸念される。

この状況下での「次世代育成」の視点として、遠回りのようでも、地域での暮らしの良さ・素晴らしさ・知恵を、子供達をふくめた住民が、自ら再度、掘起こし、認識し、かつ学ぶためのしくみが必要ではないだろうか。村の暮らしの魅力を高め、名実とも優れた点のあることを確かなデータを踏まえ、実践してゆければと思われる。

2. 「小学校・村・大学の共同研究と学びのしくみ構築」へむけた提案

- (1) 根羽村の大人達からの「村で楽しく生きるための知恵・技」の収集
⇒ 小学生と大学生の共同調査によるデータ収集
- (2) 新たな根羽村型ライフスタイルモデルのイメージ形成（関係者による総合検討）
- (3) 根羽村型『地域で生きる力』の学びプログラムの作成（関係者による総合検討）
- (4) 学びの「場」としての『農林一体化』空間整備の検討
- (5) 学びプログラム，農林一体化事業の実施と検証

（参考文献）

- 1) 日下部美佳：遊休農地を利用した集落周辺森林整備の検討－根羽村「農林一体化事業」に向けた基礎的考察－，2014年度信州大学農学部森林科学科 卒業論文
- 2) NPO 法人懐かしい未来：懐かしい未来 ラダックから学ぶ
- 3) 宮本常一：ふるさとの生活・日本の村，未来社
- 4) 農文協編：野山・里山・竹林 楽しむ、活かす－山菜、きのこ、燃料から昆虫、動物まで，農文協，2009年
- 5) 大内正伸：山で暮らす愉しみと基本の技術，農文協，2009年

体験的活動に関連する教科等の年間標準授業時間

学年	生活	特別活動	総合	家庭	技術	社会	理科
小学校							
1年	102 (2.9)	34 (1.0)					
2年	105 (2.9)	35 (1.0)					
3年		35 (1.0)	70 (2.0)			70 (2.0)	90 (2.6)
4年		35 (1.0)	70 (2.0)			90 (2.6)	105 (2.9)
5年		35 (1.0)	70 (2.0)	60 (1.7)		100 (2.9)	105 (2.9)
6年		35 (1.0)	70 (2.0)	55 (1.6)		105 (2.9)	105 (2.9)
中学校							
1年		35 (1.0)	50 (1.4)	70 (2.0)		105 (2.9)	105 (2.9)
2年		35 (1.0)	70 (2.0)	70 (2.0)		105 (2.9)	140 (4.0)
3年		35 (1.0)	70 (2.0)	35 (1.0)		140 (4.0)	140 (4.0)

1単位は小学校45分、中学校50分。()は1週間あたりに換算した授業時間数

生活

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自身自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

特別活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

総合的な学習の時間（総合）

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

(1日6時間まとめて実施することになると、年間11.7日分)

小学校学習指導要領 各教科等の目標より抜粋

～ 環境共生型自給農ライフの実現に向けた地域計画 ～

シンポジウム

自給型のくらしと 地域を目指して

持続可能で安心な未来のライフスタイルを共に考えませんか？

話題提供

■ 食の自給の観点から



自給自足 Life 代表

竹内 孝功 氏

竹内孝功（たけうちあつり）

1977年長野市生まれ。自然菜園コンサルタント。安曇野市で「Azumino 自給農スクール」を主催。NHK文化センター松本「コンパニオンプランツ講座」講師。福岡正信氏の自然農法をはじめ、川口由一氏の自然農、岡田茂吉氏の自然農法などを学ぶ。無農薬・無化学肥料栽培による持続できる自然菜園の楽しみ方や技術を指導している。著書は『これならできる！自然菜園 耕さず草を生やして共育ち』（農文協）、『育ちや味がどんどんよくなる 自然菜園で野菜づくり』（家の光協会）など。

■ エネルギー自給の観点から



NPO 地域づくり工房代表

傘木 宏夫 氏

傘木宏夫（かさぎひろお）

1960年大町市生まれ。長野大学非常勤講師。環境アセスメント学会常務理事。自治体問題研究所理事。長野県住民と自治体研究所理事。木崎湖温泉開発株式会社取締役。合同会社菜の花ステーション代表。著書は『仕事おこしワークショップ』（自治体研究社）、『地域づくりワークショップ入門—対話を楽しむ計画づくり』（自治体研究社）など。

平成 27 年

2/22 日

会場 信州大学農学部
総合実験実習棟 (30 番教室)

時間 13:30 ~ 16:45
交流会 17:00 ~ 18:30

参加申込み

シンポジウム参加は無料です。

(1) お名前, (2) 性別, (3) ご職業を明記の上, 下記申込み窓口へなるべく電子メールで事前にお申し込み下さい。

(電話でも受け付けいたします)

当日参加も受け付けますが, 交流会には事前予約が必要です。
なお, 交流会の参加費は 1000 円です。

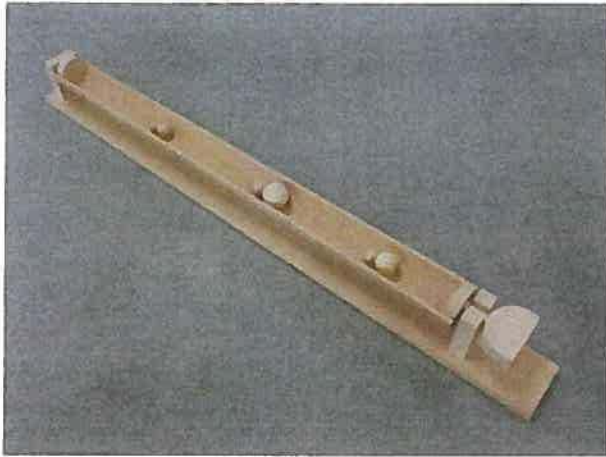
主催 青果物機能学・農村計画学研究室
共催 信州大学農学部, 自給自足 Life,
NPO 地域づくり工房

申込窓口

青果物機能学研究室 (濱渦 [はまうず])
E-mail hamazu@shinshu-u.ac.jp
TEL 0265-77-1413

子どもとファミリーを釘づけにする音の出る動く木のおもちゃ

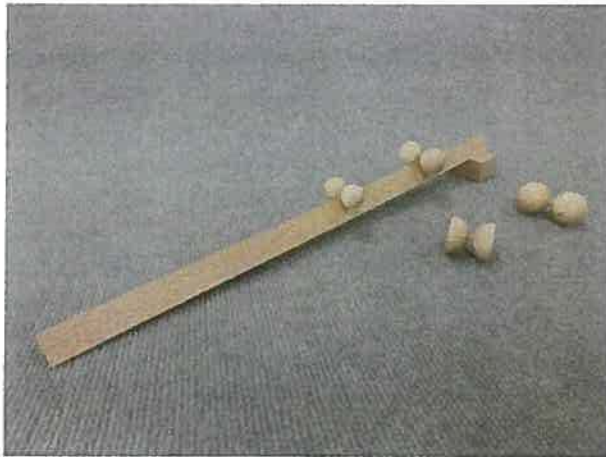
NO	名 称	ベスト3	1位	2位	3位	計
1	振ら木ありんこ					
2	りんぐ					
3	揺ら木					
4	れんきゅう					
5	木の音					
6	ふたり					
7	まわり木					
8	珠ゆら					
9	きのみ					
10	弧ろ木					
11	へんこう					
12	直方転					
13	かんきゅう					
14	とうへき					
15	振れ木					
16	揺れ木					
17	緩転					
18	スパイラルタワー					
19	C型おとし					
20	球おとし					
21	輪落とし					



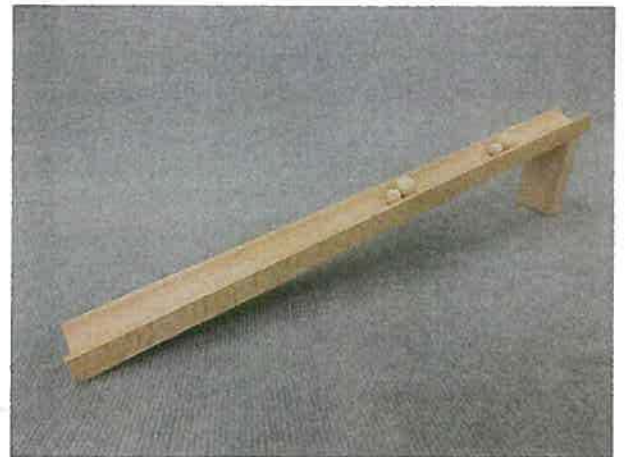
1 ありんこ 800×70×80



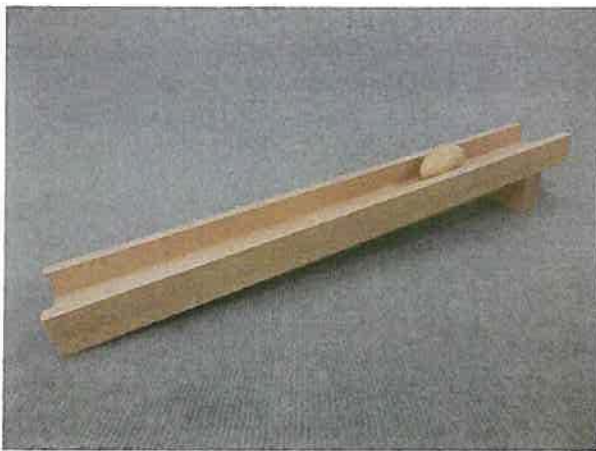
2 りんぐ 800×70×80



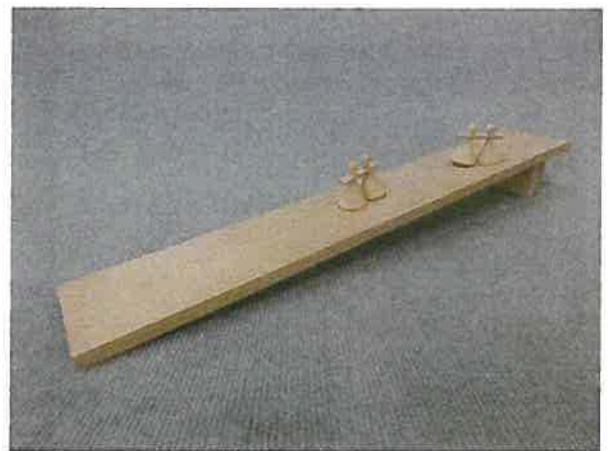
3 揺ら木 480×60×60



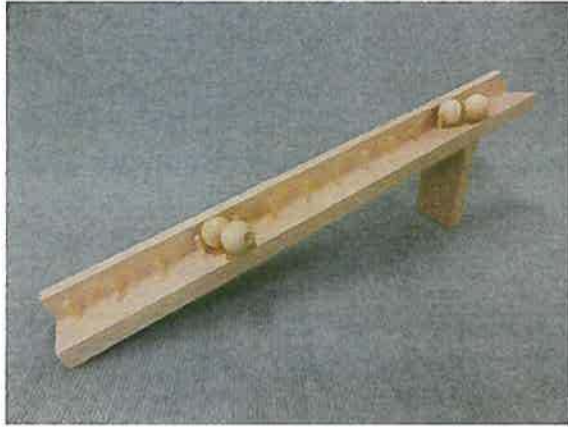
4 れんきゅう 600×50×140



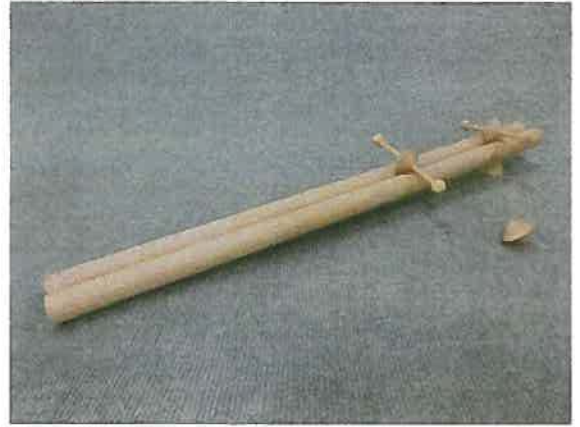
5 木の音 600×90×100



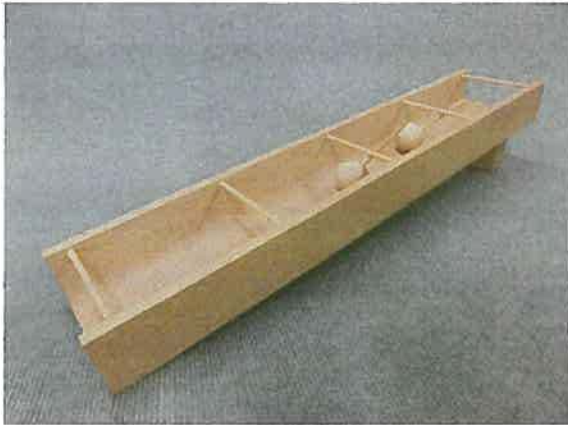
6 ふうたり 600×100×70



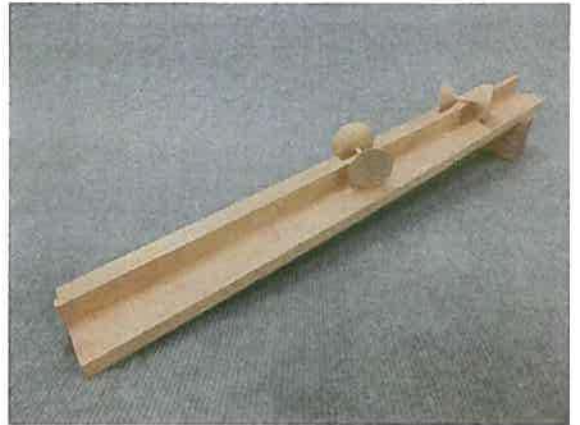
7 まわり木 600×60×200



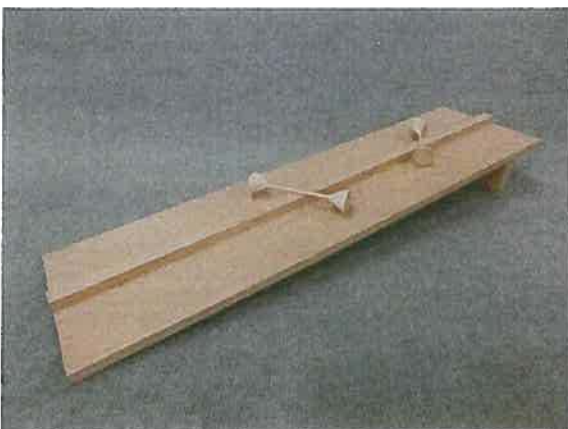
8 珠ゆら 600×120×60



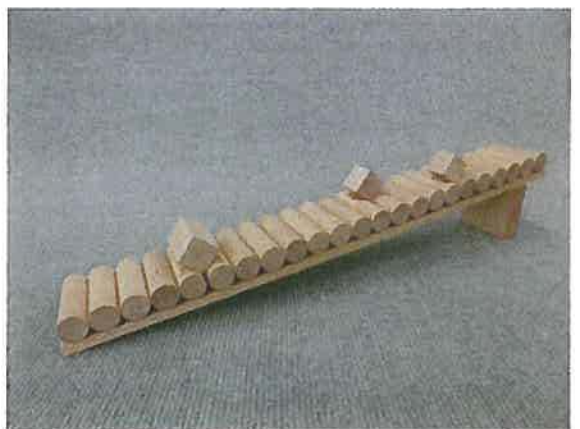
9 きのみ 600×120×120



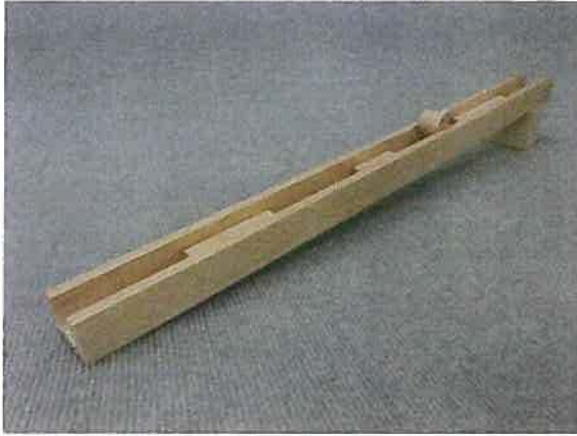
10 弧ろ木 600×90×100



11 へんこう 700×190×90



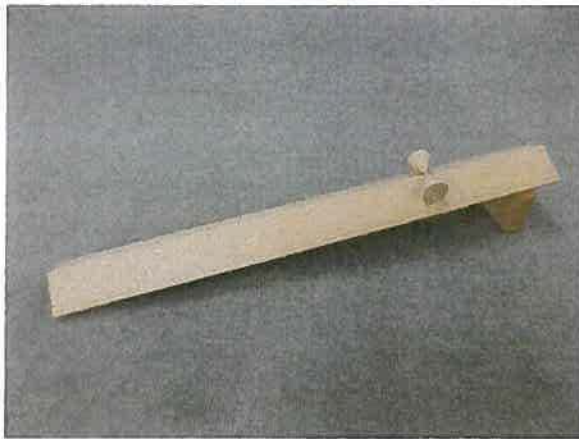
12 直方転 480×60×90



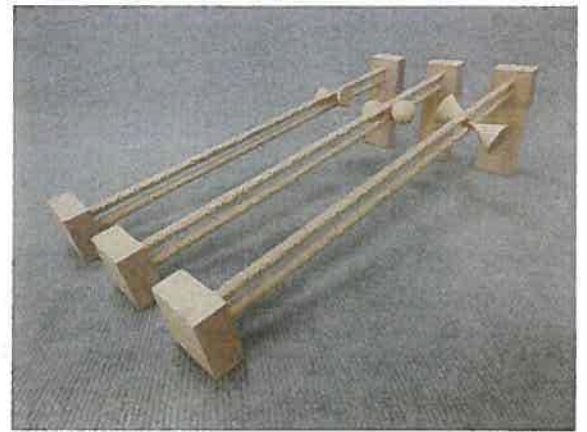
13 かんきゅう 600×50×90



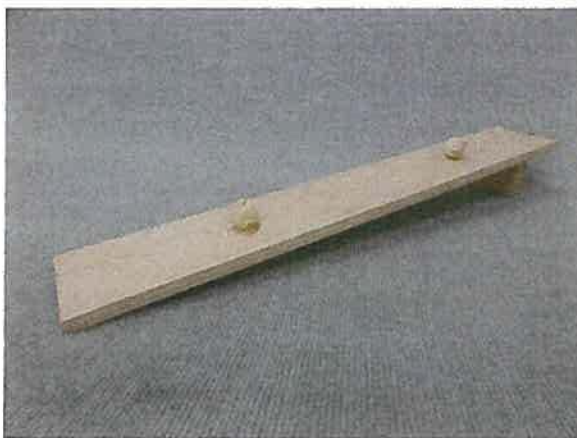
14 とうへき 600×90×120



15 振れ木 600×90×100



16 揺れ木(円錐-球-半球) 550×50×150



17 緩転 600×100×70



18 スパイラルタワー 200×450×200



19 C型おとし 120×500×120

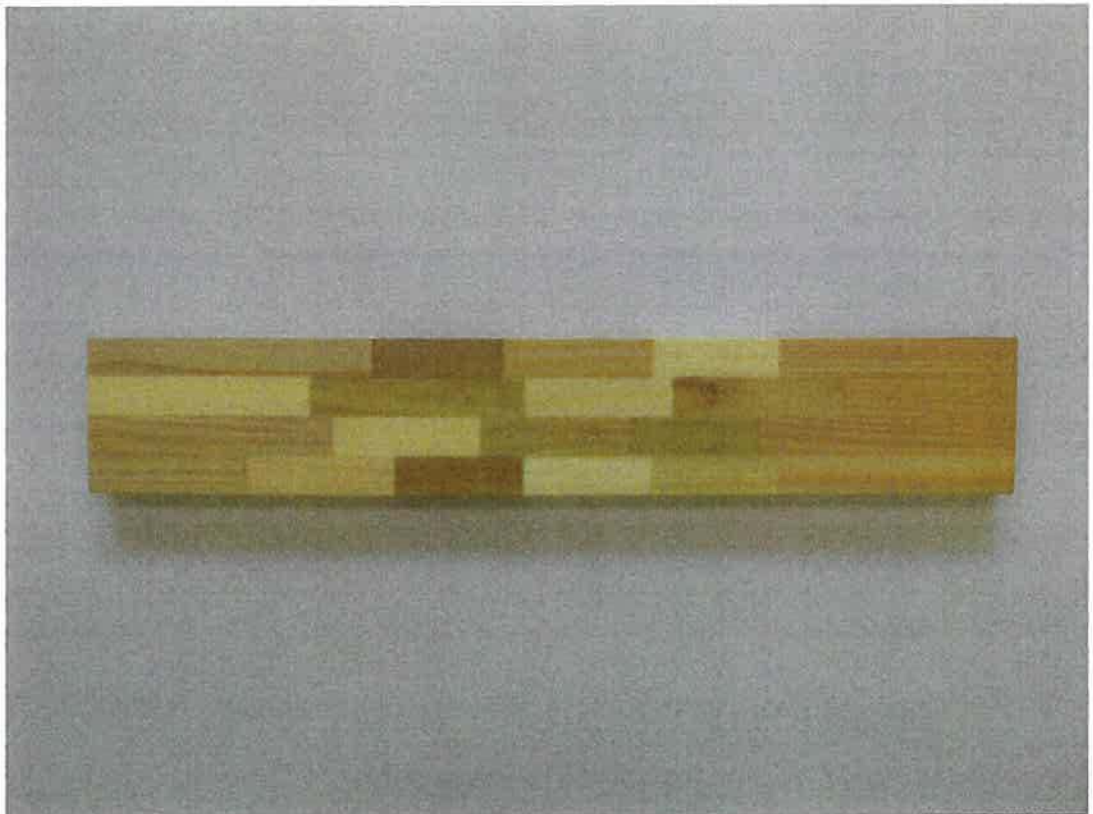
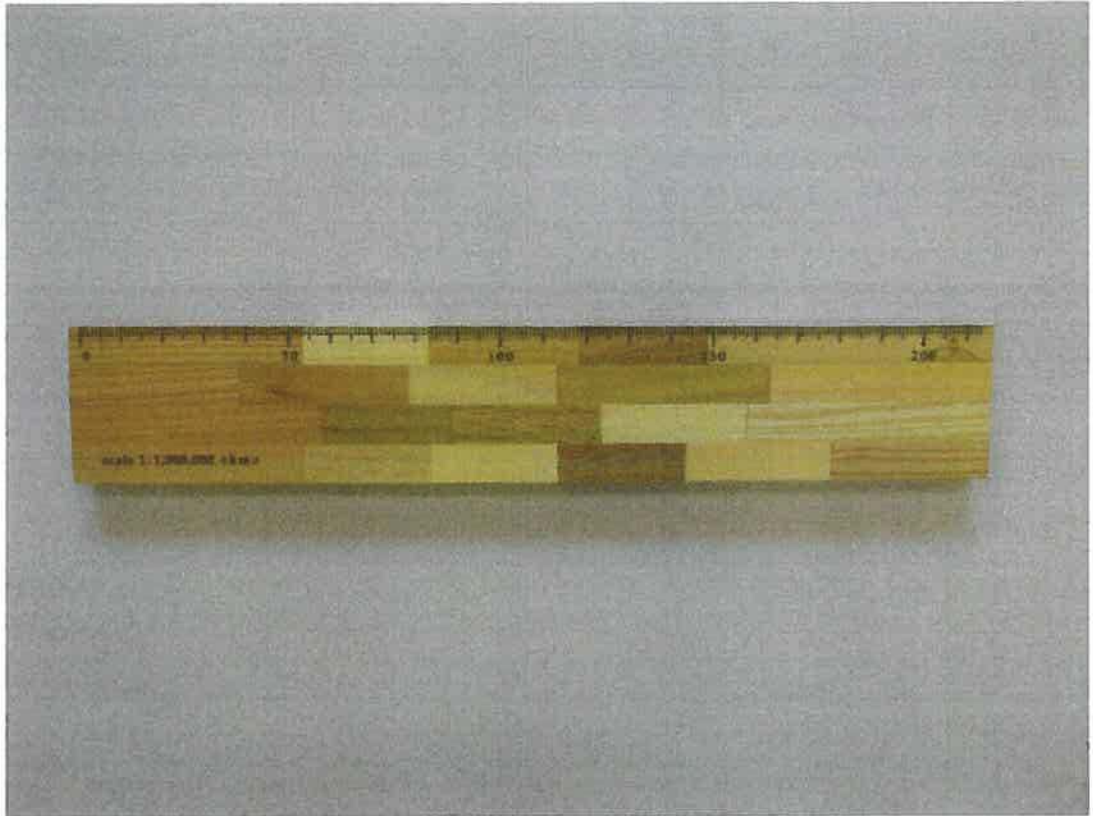


20 球おとし 140×700×100



21 輪おとし 170×750×120

天龍川流域ものさし 試作品



子どもとファミリーを釘づけにする音の出る動く木のおもちゃ
 根羽小学校 5・6年生人気投票結果 (5年生6人、6年生4人 計10名)

NO	名 称	ベスト3	1位	2位	3位	計
1	振ら木ありんこ					
2	りんぐ		1			1
3	揺ら木				1	1
4	れんきゅう	3	1	1	1	3
5	木の音	3	1	2		3
6	ふたり			1	1	2
7	まわり木				2	2
8	珠ゆら					
9	きのみ		1		1	2
10	弧ろ木				1	1
11	へんこう					
12	直方転	3		1	2	3
13	かんきゅう		1			1
14	とうへき					
15	振れ木					
16	揺れ木					
17	緩転					
18	スパイラルタワー	1	1	4	1	6
19	C型おとし					
20	球おとし	2	4	1		5
21	輪落とし					
計			10	10	10	30

木のおもちや

名前 石原 綾音

	おもちゃ	理由
第1位	球おとし	球のあたるスピードかあ そくもたかくはやくもたかくて 自分に合っていると思った。 球がカッコンカッコンとあ ちていく音がよかったです。
第2位	スパイラル タワー	おちていく玉の音があ もしろかった。 横にかべがないのに 落ちていがないのかふしき だと思った。
第3位	揺ら木	玉がゆれながらあたる のかふしき1に思った。 のせる木の形によつてはせ さかかわわっているのかあ もしろかった。

- ・大きさは人のせの高さにしたり小さくしたりしてみたらあもしろいと思う
- ・今日やって音のでるやつは1つの音しかなかったから音をかえてみると楽しくなると思う
- ・今日やったのは1回セットするとあとは見ているだけのもので1人でやるのが多かったのて
何人かで協力するものや自分の手でやるものをあおくしたらいいと思う

- ・木のがありとたのしんでやれるようなおもちゃをつくらせてみるもいいと思います。またいろいろの木を使ってみるもいいと思います。
- ・小さいころでもあそべるようにかんたんではじめのしりとり説明書を作らせてもいいと思います。
- ・ものによつては木の形によつてはやさかちがうものがあったのときどう争できるようにしたいと思います。

石原綾音

木のおもちゃ

名前 鈴木琳子

	おもちゃ	理由
第1位	れんきゅう	虫みたいな形でおしりをふりながらおちていくのがかわいいしおもしろかった。 ゆくりおちていってれんきゅうという名があてていい。
第2位	スパイラル タワー	玉がころもめるからそれぞれ音がちがってておもしろい。 リズムがあてていい。 横のつづく、ついで玉が転がる所がふしきですごい。
第3位	ふたり	ふたりのてんしが仲良くおちていくところがかわいかった。 1位と2位とはちがってゆくりではなく少し速くすすんでいく所がいい。

色が一色なので桜の木やミズナラなどの色がちがう木も使って作らばうがいいと思います。

大きさが小さいので大きく作ればおもしろいと思います。

短いので長くしたほうがいいと思います。

おそいので速いスピードの物を作たらいいと思います。

かわいい物やか、こい物を作るとうれしいと思います。

自分ですすめる物を作るとおもしろいと思います。

木のおもちや

名前 西尾 玲乃

	おもちゃ	理由
第1位	球おとし	人がブランコからブランコに飛ぶのっての、ているみたいでとてもおもしろかった。にているのを見たことはたくさんある(ある、わかるよう)だけど楽しい。
第2位	スパイラルタワー	音が3ついっしょにやると、すごい音だった。3つの球をいっしょにおとすと3人が、そいつでかいたんをおりているように見えたり、公園にありそうな、すべりたいをすべ
第3位	すわり木	すごくふしぎな音きをしていて見ているのが楽しかった。ぼうとぼうのあいだに入るところから行くのがとてもおもしろくて好き。

ているのにはいる。

ペタゴラスイッチのようにしたと、まう味が出ていいと思います。
 ・パチンコのように、かにか音がなる、点数をつけて自分たちでまうい合う物も作りたいと思います。
 ・大きさがあつたその大きさによって音がかわって、いろいろな音を、いっしょにならして楽しめるようにすると思います。
 ・自分たちどうしてこうなるのかを考へられるおもちゃを作ると楽しいと思います。
 ・大きさを小さくかきかかわって、いっしょに人おとせたい。

大きくすると見やわいのでどうそうかわか、ト、ソでも楽しいと思います。
 ・ふたをゆたつようにやることで見に来てくれる、かふえらと思います。
 ・木もたくさんあつた、をつかってやれ、いいと思います。

木のおもちや

名前 前田光志

	おもちゃ	理由
第1位	リング	ムカムカするけど たっせい感はすごい。
第2位	木の音	たんたんという音がよかった。
第3位	直方車云	かおなどを作るのがおもしろ いし、カタカタという音がいい

- 大きくする。
- たてと横にころがるのは、できたから円をかいてころがるのもいい。
- 長いとイロみたいなのに玉をころがす。
- パチンコみたいなのでここにおちたら、10点とか点数をつけてみる

木のおもちや

名前 小澤 菜々実

	おもちゃ	理由
第1位	木 の み	・横の線にひっかかるとゆくり だんだんに行く所が楽しかった。 リズムがあるかんじでよかった。
第2位	たま 球 おとし	・グラウンドのすべり台なかんじでだ んだんに落ちる所がおもしろか た。
第3位	弧 る木	・2つの車云が、ていく物のリズムが 合うととても気持ち良かった。 たたせる台みたいなのをたてにする とスピードが上がるから。

・子供(またち、ちい子)たちも遊べるようにかんたんで楽しい物また、
大人でもできるようにむずかしい物にしてもいいと思う。
・協力しあって楽しめるおもちゃもいいと思う。

木のおもちや

名前 片木同良磨

	おもちゃ	理由
第1位	木の音	この昔をたたくと音がゆくゆくと すずていくのが感じられるから です。
第2位	スパイラルタワー	木きんのはなすしな音がとても ゆつたりするからです。
第3位	木の奥	木の奥かほらに響いてとても良い 音かするからです。

うたは一つのおもちやをけと集めるにつなげてピタゴラスの
のようになつたら良いと思います。
木のおもちのこいつを付けて良いと思います。
えすかしい物がたつたので保育園の人をおそへる
ようにして欲しいです。
いろんな木のキャラクターやネバーランドのおもちやを
良いと思います。

木のおもちや

名前 佐藤 心

	おもちゃ	理由
第1位	かんきゅ)	いろいろな想 ぞうが 思いうかんでくるから。たとえば、ドミノのようにして、 <u>五文字</u> 、 <u>ことか</u> てきました。また、自分このみの <u>遊み</u> ひらがてきた
第2位	木の音	木の音が、ゆくり聞こえてきておちつく感じがしたし、リズム感かあって、キレイな <u>ま</u> か <u>な</u> かかかっていたように感じた。もし家にあたらぬるとき、聞いてぬる!
第3位	十道 方 転	ピタゴラスイッチみたいいに、正方形、X2直方形の14頁番にやるとさいごに、ロボットみたいになておもしろかたから、3位にしてみました。

- ・ピタゴラスイッチみたいにつなげたり、色をぬって、カラフルにしてみました。楽しかったです。
- ・大きいおもちゃや小さいおもちゃなどいろいろあります。
- ・形を重カ物や物にたとえてみたらどうですか?
- ・スピードが速いおもちゃもいろいろあります。
- ・遊具も作って、外でもあそべるようにしたいですか?

木のおもちや

名前 鈴木 稚奈

	おもちゃ	理 由
第1位	球おとし	一つ一つのゆれる所が「ブラン」みたいにしてとても楽しい。
第2位	直方車云	回る時の音が好き。 速く回ると、ゆっくり回るのがあっておもしろい。
第3位	まわり木	回る物が順番に回るのがおもしろい。 丸いのかいすんかかわいい。

- ・色を着けたら良いと思う。
- ・長く、大きい物で、しゃがみ物を入れたら良いと思う。
- ・みんなで遊べたら良いと思う。
- ・音をもうすこしいかしたらいいと思う。
- ・チェーンソーで大きい物。
- ・名前がかん板のようにしたら良いと思う。

木のおもちや

名前 鈴木志都

	おもちゃ	理由
第1位	スパイラルタワー	3つの球を、同じ場所の一下に合わせて、それがそろうリズムみたいにおもしろい、木のいい音が出ていたから
第2位	ふたり	本当に、ふたりが同じように歩いてるみたいに見えるし、おもしろい重カキをしていたから
第3位	れんきゅう	その球が、すべり台をゆくりすたっているみたいで、重カキは、すべりがあいて、楽しい気持ちになれたから

- リズムがでるもの
- 大人や、学生でも学習などになるようなもの
- 車云がるおもちゃが、タタいて、ジャンプなど、ちがうことで、楽しめるようなもの
- 何人がで、場所がないで、できるようなもの

木のおもちや

名前 山崎圭太

	おもちゃ	理 由
第1位	たまおとし	玉が落ちていくところが とてもおもしろかった。
第2位	れんきお	木の玉が落ちていくときにおしり をふくはみたいとおもしろかった
第3位	スパイラルタワー	音が楽しい 木きんみたい 音楽が作れそう

大きい物がいいと思う
か、こいい物
かわいい物

木と共に生きる幸せ 貸切家族風呂 根羽の湯

今回新築された中房温泉「貸切風呂 根羽の湯」は、建物やお風呂に根羽村のスギ材をたっぷり使用した贅沢な木のお風呂です。木の温もりを感じながら、家族の皆さんで温泉のプライベートタイムをゆっくりと楽しんでください。

根羽村では、皆様にこうした木のお風呂をはじめ、「木のある暮らし」を徹底して楽しんでいただくため、様々な木のアイテムを開発、販売していく予定です。根羽村の木のアイテムに囲まれた贅沢なライフスタイルを手に見せてみませんか。

皆様、ぜひ「中房温泉 家族風呂 根羽の湯」につかりながら、一度根羽村まで遊びに来ていただき、モデル住宅「杉風(さんぷう)の家」、「小さく住まう魅力的な木の住まい」や、木のアイテム「どこでもシリーズ」をごらんに来ていただければと思います。

なお、このお風呂は、長野県の「県民税」を活用した平成 26 年度長野県事業「信州の木活用モデル地域支援事業」によって建てられています。

長野県下伊那郡根羽村 407-10

根羽村森林組合

電話 0265-49-2120

FAX 0265-49-2432

E-mail nebasin@mis.janis.or.jp

山の価値を確かめよう

根羽村で森の健康診断

住民参加による森林調査「森の健康診断」が6日、根羽村で開かれた。今回は初めて、「棚卸調査」も実施。伐採した木の材質を調べて、用途や価値を算出した。

村による実行委員会と矢作川水系森林ボランティア協議会の共催による事業。山所有者や村森林組合、矢作川流域の住民、東京大学の学生ら60人ほどが集まり、村内9カ所に分かれて調査を行った。森の健康診断は、矢作川水系の市民活動として始まり、素人でも簡単にできる方法で人工林の植生や密度を調べる。10年ほど前から矢作川水系を中心に全国で続けられ、これまで40都道府県で実施された。水系の山々が腐り、年輪幅などから健康かどうか確かめることで、森林への関心を高めるとともに、間伐など山林の維持にもつながっている。

根羽村での開催は今回で3回目。通常の森の健康診断とともに初めて行われた「棚卸調査」は、実際に「本木を切り出して曲がりや腐り、年輪幅などから材積や金額を把握する調査。チェック項目をまとめれば専門家でなくともある程度の価値が把握できるようになっている。

村森林組合の今村豊は「かつては山の計算もできた。自分なれば」と話している。山の価値を知り、質を高くしていくことにつなげていくことについて、



観賞会のさつき観賞会

下條村親田区の老人クラブ「極楽会」(佐々木鳳会長)のさつき観賞会が5日、親田コミュニティセンターで開かれた。同会さつき部の部員20人が、各家で丹精込めて育成してい

観賞会で交流楽しむ

下條村 親田 老人クラブがサツキ展示

競う花を愛でながら、お互いの栽培技術を話したりと交流を深めた。

部長の佐々木さん自身も10鉢を出品し「歴史ある親田のさつき部会。観賞会を開いての交流が最後の楽しみで、生きがい対策にもなる。これからも長く続けたい」と意気込みを話した。(賢)



森の健康診断の説明を聞く参加者

南信州を彩る伝統野菜

クボジユンが本を出す

市)から出版した。南信州の伝統野菜をはじめ、天龍村中井待のお茶や同村坂部地区の柚子餅子などの南信州独自の食文化、計21種類を紹介している。

昨年の6月から12月までの半年間、すべて現地に足を運び、すべて生産者にインタビューを行った。子どもから年配の人まで、目で見ても楽しめるようにカラー写真を多く使い、書き下ろしの本文の文字も比較的大きめにした。伝統野菜の魅力にとどまらず、それを育ててきた南信州の美し

南信州の魅力を伝えていく。久保田さんは「伝統野菜はいずれ消滅する運命にあるのかもしれないが、本に残すことで、これまで継承してきた生産者の方の足跡を歴史に残したい、次世代に語り継ぎたい。おがましくも、そんな想いからこの本の発刊に至った。この本を通じ、南信州の伝統野菜をはじめ、南信州の彩り豊かな魅力を伝えることができた」と話している。

県の統一ブランド

全面進化したミッドサイズスポーツセダン
Life Quality SEDAN
新型 LEGACY B4 誕生。

そのクルマは、あなたの人生を高めていく。

選ぶのは、乗るのは、あなたです

南信スバル株式会社
SUBARU 飯田市上郷別府1381-1 Tel.21-1111 Fax.21-1224